

【がん予防講演会～健康横綱への挑戦プラン～】

11月15日(土)、青函トンネル記念館にて「知らなきゃ損するがんの話」と題し、がん予防講演会が開催されました。

第1部では、「乳がんになって思ったこと、感じたこと」と題して、函館がん患者家族会「元気会」代表 斎藤佐知子さんから、「乳がんは、女性がかかるがんの1位。自分は毎年受けている乳がん検診を受けなかった年に乳がんが発覚。がん検診を受ける事で、早期発見・早期治療ができるので、毎年検診を受ける事が大切です」と力説していました。



▲自らの体験と乳がん検診の大切さを話す斎藤さん

第2部では、「肺がんのお話し」と題して、独立行政法人 国立病院機構 函館医療センター 診療顧問の岩代 望先生から、「肺がんは、早期発見が大切であること。タバコをやめられないのは、『ニコチン依存症』と言う病気であり、禁煙と受動喫煙の防止が重要である」とお話ししていました。

がんの早期発見には、定期的ながん検診の受診が大切です。町のがん検診を活用し、身体の異常に気がついた場合は、すぐに受診しましょう。



▲タバコの影響を説明する函館医療センターの岩代先生

【防災セミナーを実施しました】

12月12日(金)、福祉センターにて「令和7年度防災セミナー」を実施し、各町内会から約150名が出席しました。

町が行っている防災事業の報告や、気象予報士の丸山 将さんによる天気と防災に関する講演を行いました。

また、日赤奉仕団によるカレーライスの炊出し訓練も行い、災害時における食事対応について体験をしました。



▲丸山将さんによる講演



▲日赤奉仕団による炊出し訓練